

2023年3月12日（日）

愛知県臨床検査技師会 精度管理報告会

# 令和4年度 愛知県臨床検査精度管理調査報告 -微生物検査部門-



小牧市民病院 診療技術局 臨床検査科 微生物検査室  
西尾 美津留

# COI開示

愛知県臨床検査技師会 精度管理報告会

発表者：西尾 美津留

本発表に際し、開示すべきCOI関係にある企業などはございません

# 令和4年度（2022年度）精度管理調査の実施状況

参加施設数

61施設（前年度と同じ） ※フォトのみ1施設

設問数（前年度から釣菌問題を出題）

菌株設問

3問（前年度 3問）

同定&感受性

2問

釣菌&同定

1問

フォト設問

3問（前年度 3問）

文章設問

2問（前年度 2問）

# 薬剤感受性判定基準について

年度	日臨技	愛臨技
2018	S22	S22
2019	Ed29	S22
2020	Ed30	実施なし
<span style="border: 1px solid red; border-radius: 50%; padding: 2px;">変更</span> 2021	Ed30	Ed30
2022	Ed30	Ed30

昨年度より日臨技の基準（M100-Ed30）に合わせた

# 愛臨技独自の取り組み：釣菌設問

検体を培地へ塗布

培地の観察・釣菌

菌名同定

薬剤感受性検査

昨年より  
実施

従来より  
実施

愛臨技  
精度管理調査で  
一般細菌培養の  
全工程をカバー

# 愛臨技独自の取り組み：感染症法

**感染症法**に関する設問を設定・評価

感染症法届出疾患を**見逃し**

届出不要疾患を**誤って届出**



**検査室の精度保証が問われる**

# 精度管理調査の評価基準

## 菌名同定（菌株設問、フォト設問）

基本的に菌種名まで一致している

## 薬剤感受性（菌株設問）

CLSI M100-Ed30に準拠かつカテゴリーが一致していた場合にA評価

## 感染症法（菌株設問、フォト設問）

正解肢を選択 ※「その他」を選択した場合はコメントを鑑み、評価設定を行った

## 文章設問

正解肢を選択

# 菌株設問1

## 患者背景

70歳代の男性

大腸がん術後、38°C台の発熱

## 微生物検査

精査のため採取した血液培養2/2セット

およびCVカテーテルから

本菌が検出された

# 菌株設問1 菌名同定

A評価 59/60施設

*Staphylococcus aureus* subsp. *aureus* (MRSA)

B評価 1/60施設

*Staphylococcus aureus* subsp. *aureus*

菌名同定は良好な成績であった

# 菌株設問1 薬剤感受性 CFX

薬剤名	MIC値	回答数	回答率 (%)	評価
CFX	>4.00 R	31/60	52.5%	A
	>8.00 R	14/60	23.7%	A
	<b>≥8.00</b> R	3/60	5.1%	A
	>16.00 R	3/60	5.1%	A
	<b>空欄</b>	3/60	5.1%	A
	<b>&gt;6.00</b> R	1/60	1.7%	A
	=8.00 R	1/60	1.7%	A
	≥16.00 R	1/60	1.7%	A
	=64.00 R	1/60	1.7%	A
	12mm R	1/60	1.7%	A

MIC値 空欄の施設  
>6.00と回答した施設あり



使用した分析装置  
の  
仕様により影響

# 菌株設問1 薬剤感受性 IPM

薬剤名	MIC値	回答数	回答率 (%)	評価
IPM	≤1.00 R	23/57	40.4%	A
	≤2.00 R	9/57	15.8%	A
	≤0.25 R	6/57	10.5%	A
	=8.00 R	5/57	8.8%	A
	=2.00 R	3/57	5.3%	A
	>8.00 R	3/57	5.3%	A
	≤4.00 R	3/57	5.3%	A
	=4.00 R	2/57	3.5%	A
	=0.50 R	1/57	1.8%	A
	≤0.50 R	1/57	1.8%	A
	36 mm R	1/57	1.8%	A

回答施設数が57施設



日常検査でIPMを測定していないと推察される

次年度以降の検討課題とさせて頂く

# 菌株設問1 薬剤感受性 VCM

薬剤名	MIC値	回答数	回答率 (%)	評価
VCM	=1.00 S	51/60	85.0%	A
	≤0.50 S	5/60	8.3%	A
	≤2.00 S	2/60	3.3%	A
	=2.00 S	1/60	1.7%	A
	19 mm S	1/60	1.7%	D

VCMはディスク法での感受性測定は不適

# 菌株設問1 感染症法

A評価 51/60施設

5類感染症（定点把握）として取り扱う必要があると考えられる

D評価 8/60施設

感染症法で規定された病原体ではない

対象外 1/60施設

その他

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症は  
基幹定点医療機関の届け出疾患に該当する

# 菌株設問2

## 患者背景

30歳代の女性、骨髄移植後、化療中の発熱  
尿道カテーテルが挿入されており、尿は混濁していた

## 微生物検査

本菌は血液培養から分離された  
また尿からも同一菌が検出された

# 菌株設問2 菌名同定

A評価 60/60施設

*Enterococcus faecalis*

菌名同定は良好な成績であった

# 菌株設問2 薬剂感受性 ABPC

薬剂名	MIC値	回答数	回答率 (%)	評価
ABPC	=2.00 S	22/60	36.7%	A
	=1.00 S	14/60	23.3%	A
	≤2.00 S	13/60	21.7%	A
	≤1.00 S	5/60	8.3%	A
	=0.50 S	4/60	6.7%	A
	=4.00 S	1/60	1.7%	A
	26 mm S	1/60	1.7%	A

# 菌株設問2 薬剤感受性 VCM

薬剤名	MIC値	回答数	回答率 (%)	評価
VCM	>16.00 R	48/60	80.0%	A
	≥32.00 R	10/60	16.7%	A
	>32.00 R	1/60	1.7%	A
	10 mm R	1/60	1.7%	A

# 菌株設問2 薬剤感受性 TEIC

薬剤名	MIC値	回答数	回答率 (%)	評価
TEIC	≤0.50 S	28/60	46.7%	A
	≤2.00 S	19/60	31.7%	A
	≤1.00 S	9/60	15.0%	A
	≤8.00 S	3/60	5.0%	A
	19 mm S	1/60	1.7%	A

すべての薬剤で良好な成績であった

# 菌株設問2 感染症法

A評価 60/60施設

5類感染症（全数把握）として取り扱う必要があると考えられる

感染症法は良好な成績であった

# 菌株設問3

## 患者背景

40歳代の女性、かぜが遷延

37 °C台の発熱と喀痰が絡む咳嗽が出現したため受診

## 微生物検査

精査のため採取した喀痰培養から起炎菌を釣菌する

# 菌株設問3 釣菌・菌名同定

A評価 57/60施設 *Moraxella catarrhalis*

C評価 1/60施設 *Moraxella* sp.

分離された*Moraxella* 属菌が、*M. catarrhalis* かそれ以外の菌種かを正しく同定することは重要であるためC評価とした

D評価 2/60施設 その他

菌名同定は概ね良好な成績であった

# 菌株設問3 感染症法

A評価 60/60施設

感染症法で規定された病原体ではない

感染症法は良好な成績であった

# フォト設問 菌名同定

設問1 A評価 61/61施設 *Clostridium perfringens*

設問2 A評価 61/61施設 *Pseudomonas aeruginosa*

設問3 A評価 60/61施設 *Mycobacterium abscessus*

D評価 1/60施設 *Nocardia* sp.

菌名同定は良好な成績であった

## 設問4・5（文章設問）

設問4	A評価（選択肢1）	60/61施設
	D評価（選択肢4）	1/61施設
設問5	A評価（選択肢5）	61/61施設

いずれも概ね良好な成績であった

# 令和4年度精度管理調査まとめ

- 昨年度に引き続き、釣菌設問を実施した
- 釣菌、菌名同定、フォト設問、文章設問については概ね良好な成績であった
- 薬剤感受性検査において、CLSIの定義する方法に準拠していない  
回答が一部でみられた
- 感染症法における届出の認識について若干の課題が残った  
今一度、厚労省HPを見直すとともに、自施設の届出体制を確認して頂きたい
- 来年度も引き続き、県下の施設の精度保証へ貢献したい

設問解説の詳細は、精度管理総括集をご確認下さい  
愛臨技精度管理事業へのご参加ありがとうございました